



令和6年2月号

この号の内容

ページ2～4

災害現場の司令塔「指揮隊」とは

ページ5

令和5年度の訓練実施状況



あぶくま消防本部
警防課だより
【広報誌】



災害現場の司令塔 「指揮隊」とは

指揮隊は、平成31年4月1日あぶくま消防本部の発足と同時に、本部警防課に設置（1隊3名体制）されました。

火災や救助、特殊災害をはじめとする災害現場において、災害状況の把握を迅速に行い、部隊を効率的に展開するとともに情報を収集し、現場広報や現場全体の安全管理を含め、災害現場の統括を任務としています。



指揮車の紹介

指揮車は、災害現場で各部隊を統括し、指揮を執る「指揮隊」が運用しています。

車両には、災害現場で指揮拠点として運用するための、無線機や画像伝送用情報端末、移動式指揮台など、豊富な資機材が装備されています。

諸元	
車名	トヨタ
通称名	レジアスエース
全長	5,410mm
全幅	1,880mm
全高	2,470mm
車両総重量	2,925kg
乗車定員	7名
原動機型式	2TR
総排気量	2,690cc
無線機	活動波、主運用波、統制波



車内状況



車両後部及び移動式指揮台



車内状況 2



車両上部



水難救助訓練

7月 荒浜海水浴場で、無人航空機（ドローン）を所有する管内の企業と合同で「海水浴中に男性の行方が分からなくなった。」という想定のもと、水難救助訓練を実施しました。

宮城県9.1総合防災訓練

9月 石巻市総合運動公園を会場に「最大震度6強の直下型地震が発生した。」という想定のもと、警察や消防、自衛隊、医療機関、石巻市など55団体が参加し、総合防災訓練を実施しました。



消防訓練

10月 東日本大震災の津波で被災し、震災遺構として公開されている山元町の中浜小学校で「震度5強の地震が起きて火災が発生し、8人が取り残された。」という想定のもと、消防訓練を実施しました。

宮城県防災航空隊との上空指揮訓練

10月 岩沼市陸上競技場を拠点に、宮城県防災航空隊と合同で「管内で林野火災が発生し、消火活動にあっていたところ、新たに飛火による火災が発生した。」という想定のもと、上空指揮訓練を実施しました。



消防技術競技会

12月 火災現場で必要な基本技術の熟練度を確保するとともに、各隊の連携強化を目的として「防火造2階建て専用住宅の2階部分から出火。建物居住者である男性1名の安否確認ができない。」という想定のもと、消防技術競技会を実施しました。

実火災体験型訓練（ホットトレーニング）

1月 仙台市消防局荒浜訓練場において、仙台市消防局太白消防署と合同で、実火災体験型施設を利用した訓練を実施しました。
この訓練は、当本部で初めての試みとなり、延焼による温度変化や輻射熱の危険性を体感することができ、現場経験の少ない職員にとって大変貴重な訓練となりました。